

第2回 阿賀野市総合計画審議会 議事概要

1 会議の概要

日 時：令和2年12月18日（金）午前10:00～12:00

場 所：阿賀野市役所 403 会議室

出席者：

【委員】

武田会長、桜井副会長、大竹委員、加藤（傳）委員、佐久間委員、佐々木委員、山崎委員

【市】

菅原総務部長、米山民生部長、阿部産業建設部長、石原政策監、事務局：企画財政課（大橋課長、西潟補佐、中野係長、廣川主任、鈴木主任）

2 議事

- (1) 阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024 期）（案）について

3 発言の内容（主な意見等（○：委員、●：市））

- (1) 阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024 期）（案）について

【防災減災体制の充実】

○防災減災は重要である。近年では今まで経験したことがないような豪雨や豪雪も発生している。今夏の豪雨では、過去に水害の経験のある地区などで越水の危険が生じたり、水が引いた後の残土等堆積物が多く大変であった。防災、減災といった言葉を重要視するのであれば、こういったものの対策について盛り込んでもらおうと市民の方にとってもわかりやすいものとなる。

●基本計画では、方向性や指標を挙げているため、具体的な対策については、事務事業の中で対応していきたい。（企画財政課長）

●基本事業の中に「治水対策」がある。河川の堆積物、河道の掘削については、県の管轄する部分が多く、これまでも県にアクションを起こしているところであるが、引き続き適切に対応するよう県に対しても要望をしていく。（総務部長）

○「防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数」とあるが、阿賀野市にはどのくらいの自治会があるのか。

●279の自治会がある。（総務部長）

- 高齢化で自治会としての機能が上手くいっていないところが増えている。自治会とは違う枠組み、例えば複数の自治会と一緒に防災の取組をするなどできないか。
- 毎年自治会長にアンケートをお願いしているが、自治会活動がうまくいっているところと、リーダー的な人の不在や高齢化などで活動が停滞しているところとの二極化が生じている状況を把握しているところであり、何らかの対策が必要と感じている。複数の自治会での活動といった部分では、以前に小学校区単位での活動はどうかといった考え方を検討したこともあるが、現状では、そうした声は、あまり聞こえてこない状況となっている。(総務部長)

【交通安全対策の推進】

- 踏切前の変形三差路で事故は起きていないのか。信号もなく、優先関係もわかりづらい状況となっている。
- 合併時の協議会で、交差点の改良を検討したことがある。しかし、実際、構造が複雑であるがゆえ、通過速度が遅く、事故が起きにくい状況となっている現実もある。(総務部長)

【消防・救急体制の充実】【防犯対策の充実】

- 49号阿賀野バイパスへのアクセス道路については、市でも整備を進めている状況と思われるが、アクセス道路が整備されることで消防や救急の現場到着が迅速になる。道路の作りすぎはどうかとは思いますが、消防・救急・防犯対策のことを考えながら整備を進めてもらいたい。
- 新バイパスのアクセス道路については、バイパスの供用に合わせて、県、市それぞれで整備を進めているところである。広域交通を担う道路と、生活道路は各機能に見合った整備を行っていききたい。(産業建設部長)

【地域医療体制の充実】

- 指標の医師数が現状と令和6年度の目標値が同じとなっているが、この目標値は医師数は現状で満足しているということなのか。あるいは、医師数が減少することを見込んだ中で目標を設定したものなのか。
- 医師の高齢化でこのままでは医師数は減少が見込まれる状況であるが、その中でも医師数を減少させないという考えから目標値は現状値と同じ数値としている。(企画財政課係長)
- 阿賀野市は県内でも医師数の少ない市である。医師の確保についてはこれからも進めていくが、開業医の高齢化が進んでいる状況もあり、阿賀野市全体として医師を増やしていくことは難しいとの認識である。(民生部長)

【防犯対策の充実】

○SNS 関係で青少年が犯罪に巻き込まれる、または自身が SNS に誹謗中傷を上げやすい状況となっていて、モラルの教育が大切になってきている。市でも講演会等開催してもらっているが、予防といった観点から、SNS、スマホ、ゲーム関係を含め、子どもの心育てを充実させる必要がある。子どもたちを犯罪に巻き込ませない、犯罪者にならないため、行政と学校で協力していきたい。

【子育て環境の充実】

- 「産む・育む」ということを施策の目指す姿にしているが、あがの市民病院では3月いっぱいまで産科が終了してしまう。阿賀野市で出産することができなくなるのに、産んでくださいというのは本末転倒なのではないか。
- あがの市民病院での出産は令和3年3月で終了するが、出産までの健診は引き続き行うことができる。産科については、新潟県内で医師が少なく、県内どの市においても集約する方向性となっている。阿賀野市の場合は、近隣に個人の産科の医院も多く、実態として、そうしたところで出産される方が多い。出産までの間をあがの市民病院で対応するほか、産科の医院の紹介もしていきたい。また、近隣で出産をする場合の補助などについても検討を行っている。(民生部長)

【学校教育の充実】

○昨年度、特別支援教室も含む市内の小中学校全教室にエアコンが整備され、快適な学習環境が整っている。1人1台のタブレットの導入についても、専門の業者の手配などを含め、市から環境を整えてもらっている。各学校においても、学力の向上、SNS、心育て、不登校、いじめ問題など市教委、市と協力しながら、未来の阿賀野市のため、子どもたちのために尽力していきたい。

【高齢者福祉の充実】

- 認知症施策の推進について、金融機関の店頭にも認知症と思われる方の来店がある。目標として、認知症サポーターを増やすとあるが、このサポーターの数については、どのような考え方でカウントしているのか。
- 講習を受けるとサポーターとして認定される仕組みであり、市内で講習を受けて、実際に認定された人をカウントするといった考え方である。(企画財政課主任)
- 自身も過去に事業所で認知症サポーターの講義を受けたことがあるが、その後は講習が行われていない。サポーターを増やすという目標があるのであれば、市内の事業所からも講義の受講に協力してもらい、サポーターを増やしていくのはどうか。

【農業の振興】

- 現行の基本計画では「生産基盤の整備」が基本事業にあったが、次期基本計画では、なくなってしまった。農地、圃場の整備がされなければスマート農業や法人化も進まないと思うので、「生産基盤の整備」を基本事業の中に残した形で取組みを進めていくべきではないか。
- 委員指摘のとおり、阿賀野市は圃場の整備率が低いことは認識している。整備率を上げるよう努力していきたい。(産業建設部長)

○施策の課題に圃場整備を挙げているが、指標をみると、圃場整備率は令和6年度までに3%しか進まないことになっている。この整備率で本当にスマート農業や法人化が進んでいくのか。目指す姿とその内容をもっと精細に表さないと現場で理解してもらうことは難しい。また、推進する野菜については、阿賀野市農業再生協議会では、11種類の作物を承認しているが、この計画の内容を見ても何を目指していけばいいのか見えてこない。また、阿賀野市の循環型農業といったものを基本事業として加えてもらうと、たい肥の散布から野菜の栽培といった部分の特化に繋げていけるのではないか。それを進めることで、学校給食での地場産農産物の使用率を半分くらいにまで上げ、地場産の野菜で生徒が育つといった環境を整えば、感覚的に農業をやってみようといった将来展望を持つ生徒も出てくるのではないか。

【土地の有効活用】

- 公園や学校のトイレの洋式化について、指標を設けて環境を変えていくことはできないか。
- トイレの洋式化については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現在改修にとりかかっているところである。ただし、利用頻度が高い場所から整備している状況であり、公園など利用頻度が低い場所の優先順位は低くなる。(総務部長)

【人権を尊重するひとづくり】

- 新型コロナウイルスの関係で人権に関する問題が出てきている。人権が侵害されないよう考えてもらいたい。
- 新型コロナウイルスの市内患者の発生後、プライバシーの尊重やいじめの防止などの点について、市長から発信をさせてもらっている。(民生部長)

【行政経営の推進】

- デジタル化の推進について、まずは、都市計画図などのベースとなっている古い白地図の情報を更新してもらいたい。他市では公開地理情報システムを持っていて、暮らしの情報を始め、ハザードマップや都市計画、除雪などの情報がパソコンだけでなく

スマートフォンでも見られるようになっている。阿賀野市でも同様の取組みを進めていってほしい。

- 地図のデータが古いといった点は事実であるので、最新のものに変えられるよう検討をしていきたい。(産業建設部長)
- デジタル化の推進に関連して、今年度、ホームページの改修を行った。電子申請等への対応を含め、デジタル化については、来年度専門の部署を設けることを検討しており、長いスパンで推進していきたい。(総務部長)